

はい!

やくも町議会です

第 70 号
令和3年8月
編集/議会広報広聴常任委員会

改選を迎える14人に
かつもく
刮目せよ!

選挙前必見!

現職議員4年間の

発言数 掲載! (9ページ)

(一般質問、本会議、予算・決算特別委員会)

改選直前の
次回9月定例会、
決算特別委員会を
お見逃しなく!

一般質問

コロナによる貧困対策は? (赤井)

ワクチン接種はどうなっている? (三澤)
(4ページから)

どうして今? 相生医師住宅を

5.1億円で購入、その背景とは... (2ページ)

映像配信中! YouTube
「八雲町議会」で 🔍 検索



主な内容

	ページ
○一般会計補正予算	②
○4名の議員が町政を問う(一般質問)	④
○議決・賛否一覧他(定例会・臨時会)	⑧
○常任委員会の活動(所管課報告)	⑩
○ご意見番から(議会広報モニターからの意見・提案)	⑬
○地域おこし協力隊の皆さま(耳をすまして)	⑭



注目事業

相生医師住宅購入 5億1,000万円

相生医師住宅購入の背景

医師住宅の賃貸契約は、平成27年当時の病院長が医師招聘のために、独断的に専決で契約を推し進めた経緯があり、議会としても、議決はしたが疑念と悔いが残ったままであった。

医師住宅建設には反対ではなかったが、進め方は町民からも避難されるところであり、議決した責任を痛感しています。(赤井)

今回、医師住宅の購入にあたって、今後14年間に渡り賃借料の支払いを続けるよりも、一括で購入したほうが約1億7千万円の負担軽減となることから、町長が交渉を進めて売買契約に至った。

医師住宅の購入による「負担額の圧縮」は町長のみならず議会も望んでいたことであり、議会としても町長の英断を評価したい。



令和3年6月現在の状況

建物戸数	戸建て8戸、共同住宅20戸ほか物置、車庫等
契約期間	H27.11月～R17.10月までの20年間
賃借料支払総額	9億6,120万円
支払済総額	2億7,750万円
残総額	6億8,370万円

今回購入額

5億1,000万円
(差引1億7,370万円の負担軽減となる)

財源

購入額のうち4億6,700万円を一般会計から繰入

令和3年 第2回定例会

補正予算

5億5186万7千円追加

(補正後の総額 148億4619万9千円)

第2回定例会は6月7日から6月9日までの3日間の会期で開かれ、補正予算、条例改正、工事請負契約の締結、財産取得など議案11件、専決処分などの報告4件を審議し、いずれも原案どおり可決されました。

補正の主な内容

熊石・八雲間予約バス運行事業補助金

1,437万4千円

函館バスによる運行廃止に伴い、予約バスに移行



町内産品需要喚起対策支援事業補助金

熊石あわびの里フェスティバル中止によるあわびの販売

345万円

強い農業・担い手づくり総合支援事業補助金

トラクター（GPS付、215馬力）と
シード・ドリル（麦を筋状に播種する機械）の
取得に対する補助

984万1千円

耐震性貯水槽設置工事請負費

花浦・落部地区に新設

2,756万6千円

畑作構造転換事業補助金

139万2千円

放課後児童健全育成事業補助金

247万4千円

子育て世帯生活支援特別給付金

990万円

郷土資料館展示品整備事業

旧棒二森屋の「熊の石像」運搬料

119万9千円

2体で重さ約2トン!

高性能林業機械整備事業補助金

863万4千円

財産の取得

除雪ドーザ（8 t級）購入

1,309万円



消防ポンプ自動車購入

3,562万9千円

西分団へ配置



工事請負契約を締結

相沼地区地域会館新築工事

8,085万円

契約の相手方

原田・熊谷特定建設工事協同企業体

一般質問

町政を問う！

※質問した議員本人が原稿を書いています。

一般質問とは？

町の仕事の全てを問いただし、自由な意見を述べ、それについて町の公式見解を引き出すことのできる機会。華やかであるが「力量」が問われる。

町長 この法案は防衛関係施設の機能を阻害する周辺区域の土地

同。今後の八雲町のまちづくりに影響するのではないかと、町長の考えを伺う。

質問 国会では「重要施設周辺及び国境離島等における土地利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律案」が審議されている。その法律案では、八雲町は特別注視区域、防空機能重要施設候補になっている。



基地に隣接する八雲市街地

重要施設の概ね1kmの範囲内を指定されると、八雲市街のほとんどの区域が該当することとなる。

八雲町においては、航空自衛隊八雲分屯基地が、この法案に掲げる重要施設に該当するものと思われるが、現在、国会で審議中であること、具体的な内容が示されていない状況であるため、まちづくりに影響を及ぼすのかどうか、現時点で判断することは難しいと考えている。

よこたきよし 横田喜世志 議員



A 現時点で判断することは難しい

Q 重要土地法案の八雲町への影響は？

や建物の利用を防止することを目的としており、指定区域内の土地等の利用に一定の規制を設けようとするものである。

議会これからの予定

- 《8月》 11日 総務経済常任委員会
- 19日 文教厚生常任委員会
- 《9月》 6日 議会運営委員会
- 9日～15日 第3回定例会
全員協議会
総務経済常任委員会
文教厚生常任委員会
広報広聴常任委員会

議会を傍聴してみませんか

次の議会は、
令和3年第3回定例会
9月9日（木）午前10時から
開会の予定です。
お気軽に足を運んでみてください。
YouTubeで映像配信もします

Q コロナによる貧困対策を！

A 関係機関と連携を図り、対策を検討！

あかい 赤井 むつみ 睦美 議員



条件を満たす必要があり、対象者は限られる。

こうした状況も含め、現状と今後の対策について伺う。

町長 生活が困窮されている方に対し、きめ細やかな相談と制度のPRを行い、関係機関等と連携し取り組んでいく。

住民生活課長 国の生活困窮者自立支援金については、全容がまだ示されていないため、町としての体制は決まっていない。

町長 漁業者については、魚の値段が非常に安く、大変だという声も聴き、心を痛めている。3漁協としっかり話し合い、支援策を考える。

また、子どもの貧困を含め、コロナ禍で生活が大変厳しくなっているという話もあり、今後の方向

性も協議していきたい。

Q 2025年問題は目前！

A 機構改革を検討！

問 2025年には人口の45人に1人が75歳以上、3人に1人が65歳以上という超高齢化社会に突入する。そのため政府は2011年から「地域包括ケアシステム」を提唱し、住み慣れた地域で人生を全うする仕組みづくりを推進している。

しかし、2020年時点で、すでに年金の額は減少しており、少子化により医療難民や介護難民、老老介護、認認介護等が予想されている。

住み慣れた八雲町で人生を全うするために、こうした医療、介護、人材確保の問題に対し、現状と今後の対策を伺う。

町長 現在、医療従事者や介護従事者の確保に向けた取り組みを行っているが、有効な手段がないのが現状である。

保健福祉課長 昨年、生活支援コーディネーターを配置し、町民の意見を聴く機会を設ける取り組みを進めているが、今後も支え合える仕組みづくりを考えたい。

町長 医療と福祉の連携が必要と認識している。今は住民生活課と保健福祉課で対応しているが、今後は医療も連携できる部署をつくり、高齢者も安心して生活できるように機構改革を行っていきたい。

老老介護：不安のない老後を！



Q

八雲版ネウボラ、一緒に考えていきませんか

A

名前に特化せず、しっかりと子育てしていく

議員 ともこ 佐藤 智子



問

ネウボラとは、フィンランド語で「相談の場」を意味する。子育てしやすい町として八雲版ネウボラを考えてはどうか。

町長

フィンランドのネウボラは妊娠期から就学前にかけて子どもやその家族を支援する制度で、できるだけ同じ保健師がワンストップで切れ目のないサポートを提供するものである。

八雲町では母と子を中心としつつも、父や兄弟など家族全体の状況についても相談を受けながら、妊産婦の心のケアと出産・育児の不安軽減に努めており、様々な支

援を進めている。

現状においてもネウボラに近い体制で子育て支援を進めていると認識している。名前に特化せず、今後も関係機関と連携しながら、子育て支援に力を注いでいく。

H26年の一般質問、私が「ネウボラの施策」の実現を訴えたことで、現在の「切れ目のない支援」ができています(三澤)

Q

角田弟彦にもっと光を

A

発信について検討したい

問

角田弟彦の歌碑が目立たない存在となっている。もっと目につくような工夫はできないか。

教育長

角田弟彦は旧尾張藩主、徳川慶勝の命を受け、明治11年に開拓移住者の先導役として八雲の地に入植し、開墾の激務の傍ら、和歌の指導を行った。大正5年に失明するまでに記した「胆振日記」には村の独立や八雲の命名についての記録もあり、小学3・4年の社会科副読本「わたしたちの町八雲」には歌碑の写真などが載っている。

教育委員会としては、現在、石碑を含む文化財のデータベース化に取り組んでおり、町民に興味・関心を持ってもらうと共に、学校教育でも活用できるように、発信について検討したい。

町長

歌碑のある八雲消防団西分団格納所の土地は所有者が複雑化している。役場庁舎や公民館が移転する時に考えたい。



角田弟彦の歌碑

Q

新型コロナウイルス接種と医療のひっ迫状況は？

A

接種はなるべく早く、医療はひっ迫していない

問

医療従事者と、75歳以上の2回目の接種の終了時期は？

町長

八雲総合病院の職員を優先し、2回目の接種を進めているところ。75歳以上は7月上旬に終了予定。

問

65歳から74歳までは？

町長

6月中旬に開始し、8月中に終了予定。

問

今後の接種順位は？

町長

8月上旬に基礎疾患を持つ方と60歳以上の方、8月下旬から60歳未満の方の接種開始を考えている。なるべく早く接種できるように職員全員で取り組んでいる。

問

医療のひっ迫は？

確保している病床は12床で、一日当たり最大で約4割の稼働率だった。医療はひっ迫していない。

かや刈ると 谷地にいたりたち
けふもまた わが手な未は
血に染まりつつ 弟彦

Q 新型コロナウイルスワクチン接種の課題をどうする？

A 今後も、随時見直しを図る

みさわ 三澤 議員
きみお 公雄

問 ①現在、新型コロナウイルスの接種が行われているが、「これまで」と「これから」についてどう考えているのか。

②職員全体の「働き方」が過重になっていないか。

③選挙における投票率の維持・向上への工夫は？

町長 ①電話予約が集中した

ことにより、繋がりにくい状況が続いたことは反省すべき点。今後は対象者の予約日を分散化し、短期間に電話が集中しないように調整していく。ウェブ予約の利便性についても周知に努める。

②職員全体で担い、一部の職員に過大な負担がかからないようにする。

選管事務局長 ③選挙人の分散を図るという観点から、期日前投票における移動投票所についても検討していきたい。

移動投票所、期待しています！（赤井）

Q 「土地改良制度の見直し」の見直しを直訴せよ

A 町が農地を購入し、整備することも必要と考える

問 平成29年に「土地改良制度の見直し」がされたが成果がない

「担い手」への負担軽減を図り、農地を有効に活用するために自治体が基盤整備を行い、国が財源措置をするような法改正の必要性を訴えるべき。

町長 農地は全て町の財産と考えている。今は基金の蓄えもある

ので、町が農地を購入し、基盤整備をして、使いやすい農地にしていくのも必要ではないかと考えている。

Q 熊石地域を再エネ促進区域に定めては？

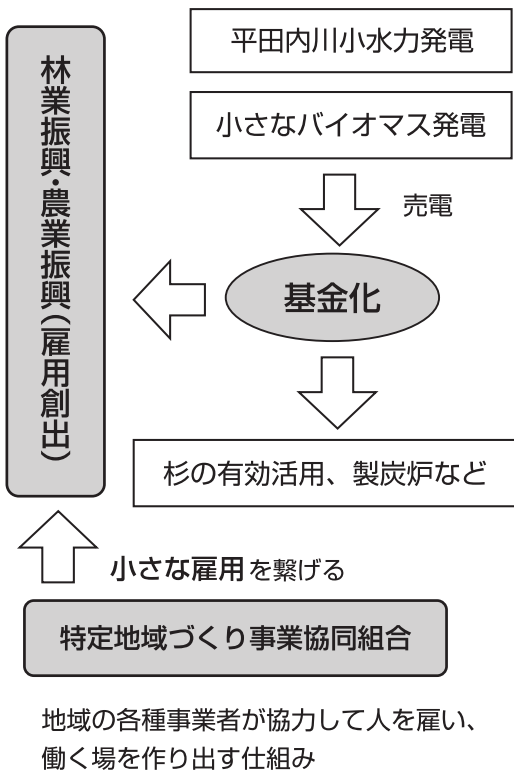
A 産業活性化は、いろいろと考えている

問 町長の示した産業振興プロジェクトの「平田内川小水力発電

事業」を核として「小さな木質バイオマス発電」や「杉材の有効活用」そして、小さな雇用を繋げる「特定地域づくり事業協同組合の設立」などを通して、熊石地域の魅力を高める取り組みをすべきでは。（左図参照）

町長 コロナ禍であるが、産業振興プロジェクトの調査は進めている。林業活性化についても森林組合や業者等と連携し進めていきたい。再生エネルギーについても地産地消の思いはあるので、一歩進めていきたい。

目的は熊石地域の活性化！



定例会・臨時会議件一覧

令和3年第3回臨時会（令和3年4月15日）			
議案第1号	令和3年度八雲町一般会計補正予算（第2号）	報告第2号	専決処分の報告について （損害賠償額の決定について）
報告第1号	専決処分の報告について （損害賠償額の決定について）		
令和3年第2回定例会（令和3年6月7日～9日）			
議案第1号	八雲町税条例等の一部を改正する条例	報告第5号	専決処分の報告について （損害賠償額の決定について）
議案第2号	八雲町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	発委第1号	八雲町議会議員及び八雲町長の選挙における選挙公報の発行に関する条例
議案第3号	八雲町介護保険条例の一部を改正する条例	発委第2号	八雲町議会会議規則の一部を改正する規則
議案第4号	工事請負契約の締結について	発委第3号	八雲町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の一部を改正する条例
議案第5号	財産の取得について	発議第1号	保健師等の大幅増員・保健所機能の抜本的強化を求める意見書
議案第6号	財産の取得について	発議第2号	地域医療構想を見直し、実情に応じた医療体制の確立を求める意見書
議案第7号	辺地に係る総合整備計画の策定及び変更について	発議第3号	2022年度地方財政の充実・強化に関する意見書
議案第8号	令和3年度八雲町一般会計補正予算（第3号）	発議第4号	学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書
議案第9号	令和3年度八雲町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	発議第5号	同性婚の法制化にむけた議論の開始を求める意見書
議案第10号	令和3年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	発議第6号	2021年度最低賃金改正等に関する意見書
議案第11号	令和3年度八雲町病院事業会計補正予算（第1号）	発議第7号	教職員の超勤・多忙解消・「30人以下学級」の実現、義務教育費国庫負担制度堅持の意見書
報告第1号	専決処分の報告について （損害賠償額の決定について）	発議第8号	国民健康保険税（料）のさらなる負担軽減を求める意見書
報告第2号	専決処分の報告について （町営住宅の明渡しに関する訴えの提起について）	発議第9号	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
報告第3号	専決処分の報告について （町営住宅の明渡しに関する訴えの提起について）	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出について	
報告第4号	令和2年度八雲町一般会計繰越明許費に係る歳出予算の繰越について		

議会のうごき

<p>《5月》</p> <p>13日 総務経済常任委員会 議会運営委員会</p> <p>20日 全員協議会 文教厚生常任委員会 総務経済常任委員会</p> <p>《6月》</p> <p>2日 議会運営委員会</p> <p>7日～9日 第2回定例会</p> <p>8日 総務経済常任委員会</p>	<p>9日 議会運営委員会 広報広聴常任委員会</p> <p>17日 総務経済常任委員会 文教厚生常任委員会</p> <p>《7月》</p> <p>6日 広報広聴常任委員会</p> <p>8日 総務経済常任委員会</p> <p>19日 広報広聴常任委員会</p> <p>29日 第4回臨時会 文教厚生常任委員会 議会運営委員会</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

異議あり!

第2回定例会 賛否一覧 (反対のあった議案を掲載)

賛成 ○ 反対 ×

議案名	採決結果	関口正博	佐藤智子	横田喜世志	齋藤 實	大久保建一	赤井睦美	三澤公雄	田中 裕	牧野 仁	安藤辰行	宮本雅晴	千葉 隆	黒島竹満	能登谷正人
議案第11号 令和3年度八雲町病院事業会計補正予算(第1号)	可 決	○	×	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
発議第1号 保健師等の大幅増員・保健所機能の抜本的強化を求める意見書	否 決	×	○	○	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×
発議第2号 地域医療構想を見直し、実情に応じた医療体制の確立を求める意見書	否 決	×	○	○	×	×	○	×	欠	×	×	×	×	×	×
発議第4号 学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書	可 決	○	×	×	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	○	○
発議第5号 同性婚の法制化にむけた議論の開始を求める意見書	否 決	×	○	○	×	×	○	○	欠	×	×	×	×	×	×
発議第6号 2021年度最低賃金改正等に関する意見書	否 決	×	○	○	×	×	○	○	欠	×	×	×	×	×	×
発議第8号 国民健康保険税(料)のさらなる負担軽減を求める意見書	否 決	×	○	○	×	×	×	×	欠	×	×	×	欠	×	×

※能登谷正人議長は、賛否同数の場合にその可否を決定します。

4年間の議員の発言数

平成29年11月から令和3年6月まで開催された定例会、臨時会、予算・決算特別委員会での発言数。(1回の本会議等で複数回発言しても1回でカウントしています)

多ければ良いというものでもないが、なければ「考えてるの?」と思われそうな表を、あえて載せました。(大久保)

単位：回

	赤井睦美	安藤辰行	大久保建一	黒島竹満	齋藤 實	佐藤智子	関口正博
一般質問	15	0	3	0	4	15	4
本会議	7	0	8	4	4	18	1
予算・決算	7	2	5	5	3	7	4

	田中 裕	千葉 隆	牧野 仁	三澤公雄	宮本雅晴	横田喜世志	能登谷正人
一般質問	0	0	0	15	11	15	—
本会議	11	13	1	21	0	15	—
予算・決算	5	6	5	6	4	6	—

予算・決算で6回なのは、委員長を務めた分、1回少ないんです。(三澤)

※現議員のみ(五十音順)、能登谷正人議長はカウントされません。

常任委員会 の活動

令和3年5月から7月の
各常任委員会の活動です。

文教厚生

所管各課から報告を受けた中で
主なものをお知らせします。

【保健福祉課】

新型コロナウイルスの接種状況
について、医療従事者は2回目の
接種が終わり、高齢者についても
2回目の接種が順次行われていま
す。

熊石地域では、9月頃には12歳

以上の希望する方すべての接種が
終わる予定です。

八雲地域では、7月中旬に59歳以
下の方の接種券を送付する予定で
す。

小中学校・保育園・幼稚園・学
童の職員は、優先的に接種できる
ように準備をしています。

優先接種という報告を
受けたとたん、国からの
ワクチン供給が途絶えて
しまいました。
国としての役割をしっ
かりと果たしてほしいで
すね！

わたし よぼうさく 私たちにできる予防策



【熊石国保病院】

令和2年度の決算報告がありま
した。

新型コロナウイルスの影響から通院を控
える方が多く、入院・外来ともに
患者数が減少し、その結果596
万2千円の赤字となりました。
こうした状況は熊石地域だけでは
なく、全国的にも大きな問題と
なっています。

1日も早く、安心して通院でき
るようになると思います。

【八雲総合病院】

令和2年度の決算報告がありま
した。

脳神経外科の常勤医師不在によ
り入院患者が減少、また新型コロ
ナの影響により外来患者も減少し
ましたが、給与費や材料費の減額、
診療報酬の加算等の見直し、コロ
ナ関連の交付金により、約十年ぶ
りに2億171万7千円の黒字と
なりました。

八雲総合病院では、コロナ患者
の受け入れもあり、職員は緊張の
日々をお過ごしだったと思います
が、その努力と、町民皆さまのご

協力により、感染拡大することな
く落ち着いていることに、心から
敬意と感謝を申し上げます。

まだまだ安心はできませんが、
国保病院も総合病院も、1日も早
く通常の医療ができることを願っ
ております。



全国的に医師不足が叫ばれてい
る中、八雲でも脳神経外科や透析
の医師が不在のため、他の地域の
病院に通わなければならない患者
もおります。

医師確保は非常に難しい問題で
すが、できるだけ町内で完結でき
るようになってほしいですね。

所管各課から報告を受けた中で
主なものをお知らせします。

●熊石・八雲間における予約バスの導入について（政策推進課）

実証実験内容

- ・ 2月1日から2月26日までのうち平日の18日間。
- ・ 一日2往復の運行。
- ・ 予約型とし、予約がない場合は運行しない。

実証実験結果

- ・ 延べ予約件数は44件。（うち5件がキャンセル、39件で稼働）
 - ・ 実利用人数18人。
 - ・ 利用者の年代は15歳〜18歳と65歳以上が30%ずつ。
 - ・ 利用者の居住地は約7割が熊石地区、せたな町も約1割。
- 熊石・八雲間の予約バス運行
- ・ 令和3年10月1日開始予定。
 - ・ 町負担額は約843万円。

●株式会社木蓮の令和2年度経営状況及び令和3年度事業計画について（商工観光労政課）

株主総会において、新しい代表取締役社長に岩村町長が就任された。

経営状況報告では、株式会社青年舎の株式を引き受けた旨の説明もあった。

報告を受けての質疑

Q なぜ若い取締役からではなく、町長が社長に選出されたのか。

A 株主総会において取締役の方々が決定されたこと。若い人を軸に人材育成に取り組む方向性は変わらないと伺っている。

設立の際、「会社はつぶれても、若者はつぶさないで！」と議場で訴え、町長は了解したのに・・・
(赤井)

Q 青年舎が木蓮の株式を引き受けたのはなぜか。

A 青年舎が所有している旧大関小学校の管理・運営など、業務上の協力関係を構築することになったためと伺っている。

Q 管理・運営であれば、株式を譲渡しなくても委託契約で十分ではないか。

A 株式会社が判断されたことである。

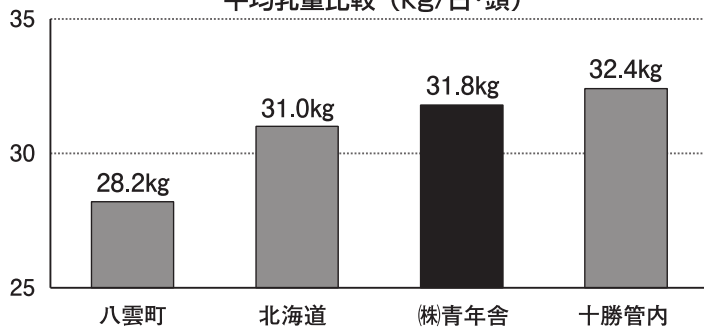
●大関牧場の稼働状況（農林課）

5月末の飼養頭数及び乳量

・ 搾乳頭数は130頭。（うち口ポット牛舎100頭、パーラー牛舎30頭）

・ 育成牛頭数149頭。
・ 1頭あたり乳量は一日31・8kg

平均乳量比較 (kg/日・頭)



住民投票条例勉強会

総務経済常任委員会では、住民投票条例の仕組みなどについて、勉強会を重ねてきました。

「核のゴミ受け入れ」の件など、これまで道内においても住民投票の是非で町が二分され、直接請求にまで発展したこともありましたが、しかし道内はもとより、全国的にも、住民からの請求による条例制定は議会で否決されることが多いのが現状です。

そこで、一定の署名数など、発議要件を満たすことで住民投票が実施できる「常設型住民投票条例」を制定してはどうかとの意見が出て、委員会で協議を始めました。

「常設型住民投票条例」と、より柔軟な対応が可能であるが、議会で否決される恐れもある「個別型住民投票条例」という二つの住民投票条例の形態について、メリット・デメリットなどの議論を深めてきました。

現在、9月定例会に向けて報告書を作成しているところです。

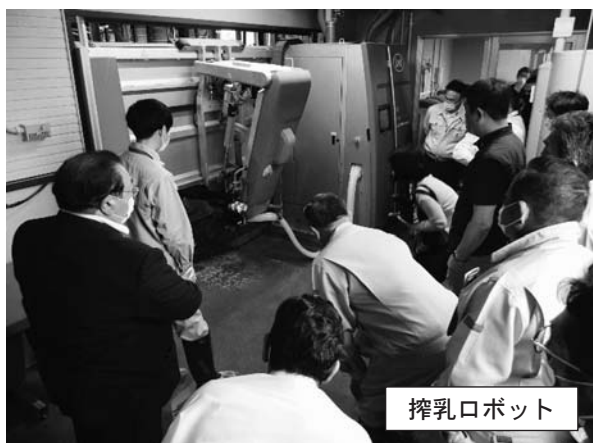
大関牧場の視察をしました

6月29日、総務経済常任委員会で株式会社青年舎大関牧場の視察に行ってきました。

視察した議員の感想

- ・この施設をいっばいにするなんて想像できない。
- ・いっばいになったら壮観だね。
- ・センサー搭載の搾乳ロボット、なぜ日本製ではなく、外国製なんだろう。

酪農家なら、そんなことは思わない。外国製が当たり前なので。



搾乳ロボット

・最新空調システムが入っているなら、全然臭わないと思っていた。

ふん尿システムがまだ完璧に稼働していないからだと思います。



大関牧場に関しては、議会でも勉強しながら、慎重に議論を重ねてきました。

まだまだ頭数は少ないのですが、今年度から稼働の大関牧場に期待大であります。

働いている皆様のご苦労もあわせて、温かく見守り、応援していきます。

広報広聴

● 4年間を振り返って

モニター制度導入や、吹き出しで個人の意見を入れたり、自由に活動できた。今後は年間スケジュールを決めて進めるとよいのでは。



赤井委員

年4回の「耳をすまして」だけではなく、もっと取材を多くして、町民の声を載せていきたい。



宮本副委員長

昔からみたら、堅さがなくなった。



大久保委员長

タイトルが変わったり、写真などの工夫がされたり、誌面がよくなった。



佐藤委员



牧野委员

議員間の対話など、議員の生の声を載せるようにしたい。

表紙の写真、町民から意見をいただきながら取り組めた。



三澤委员

原稿を書くのに、いろいろと試したいことがあったが、なかなか実践できないこともあった。

広報広聴常任委員会は、議員が自由な意見を言い、学び合える場となっております。改選後も軸足を町民に置き、誌面改善に努めてまいります。

ご意見番から！

議会広報モニターから
の意見・提案

議会広報誌第69号について、議会広報モニターの皆さんからご意見・ご提案をいただきました。

記事の内容について

- ・議件一覧は**必要なのか**疑問を感じる。
- ・事業の説明や効果等、町民に知られていないので、事業の記事があってもよい。
- ・合併時の基金について、**吹き出しの議員の一言は興味を惹いた。**

誌面（レイアウト等）について

掲載に向けて頑張ります！

- ・議会広報なので**お堅い情報ばかり**だが、「ちょっと役立つミニ知識」みたいな記事があるといい。
- ・諸問題が**山積み**なのは想像するが、やはり**文字に圧迫**されている感じがする。



その他の意見

- ・令和3年度予算のページと、予算委員会質疑のページを番号などを付けて関連付けてみては。
- ・「耳をすまして」の記事に、飲食店やスナックなどの経営者の声を聴いてみては。
- ・議員の本音を書きづらい、言いづらい広報、議会にはなってほしくない。

これらの意見等を参考にしながら、より見やすくわかりやすい広報誌を目指し、日々検討を重ねています。

伝えたいことや書きたいことも多くあり、限られたページの中で発信していくことは大変難しいと感じていますが、広報広聴常任委員会では、より多くの町民の皆様にご覧いただけるよう、今後の誌面づくりに活かしていきます。

議会PR動画配信中！

より幅広い世代に八雲町議会について知ってもらおうと、「議会PR動画」を議会広報広聴常任委員会で制作しています。

新型コロナウイルスの影響から、議会報告会を開催できずにいるところですが、コロナ禍の中、動画配信という手段を使い、議会からいろいろ発信していこうと考えています。

ぜひ、ご覧になって、より議会に関心を深めていただければ幸いです。

「八雲町議会PR動画」で 🔍 検索

耳をすまして

町民の皆さまの声が聞きたくて、議会を飛び出し町内の色々な団体やサークルなどの皆さまの声を聞いてみました。今回は

地域おこし協力隊の皆さまです！

(窪山さん、平野さん、山本さん、深田さん、上田さん) ※左から

Q 八雲の印象や感想を教えてください？

- ・田舎だけど不便ではなく、地域の方たちがとてもフレンドリーでよそ者扱いをしない。
- ・地域の方に教えてもらって野菜を作っている。四季がはっきりしていて、空も広く自然豊かな町。
- ・八雲は思ったより都会的。通勤者や若い人も多いが、接点が少ないので、関われる機会があると良い。
- ・まちづくりに対する意識の高い人が多い。一緒に協力していけたら良いと思っている。
- ・家の窓が大きく、夕焼けや緑が見え、窓を開けると牛の匂いがするところが良い。
- ・1次産業の方たちと幅広く話す機会があって良い。少しでも力になればと思う。

Q 各地で協力隊の募集があると思いますが、なぜ八雲を選んだのですか？

- ・北海道に来たかったので、はじめは道内の別な場所で働いていたが、いろいろ探して八雲町に決めた。
- ・八雲の募集ページが、他より写真や情報も多かった。
- ・道の駅のようなアンテナショップに関わりたかったので、丘の駅がある八雲町を選んだ。
- ・八雲町は海も山もあって景色が良い。外国人との関わりがあるということなど、条件も良かった。

Q 実家に八雲の物産を送るとしたら何を送る？

- ・ホタテ！今回稚貝も食べたが、とてもおいしかった。実家にホタテを送ったら、喜んでもらえた。
- ・好きなのは軟白ネギ。焼いてご飯にかけて食べてもおいしいし、ネギ丼は大好き。
- ・軟白ネギと豚肉の組み合わせは衝撃だった。その他はツブ、牛乳、スナップエンドウがおいしい。
- ・サクラマスがとてもおいしかった。実家からはミルクィやカントリーマアム、チーズを送ってほしいと言われる。

Q 議会はどんなイメージですか？

- ・町民との間の垣根が高いと感じている。意見箱等で町民の意見を集め、動画で答えていくという取り組みはどうでしょうか。



Q 今後、取り組みたいことは？

- ・道東テレビのような、地域の情報発信番組を作って、八雲をPRしたい。
- ・後継者問題などを含め、1次産業の人たちが仕事に誇りを持てるような取り組みをしたい。
- ・旧大関小学校の活用。町民の声を聴き、他の協力隊とコラボして旧大関小学校を活気ある場所にしたい。
- ・DMO（観光地域づくり法人）の認定を受ける。個人的にはスポーツを絡めた観光、北海道ベースボールリーグを道南に作りたい。
- ・・・取材を終えて・・・

地域おこし協力隊のメンバー全員ではありませんでしたが、取材に参加してくれた5人は八雲に対し好印象を持ち、八雲の良さを発掘し、PRしたいと意欲満々でした。

町民が「土」なら協力隊の皆さんは「風」。その両方で相乗効果を発揮し、より良い「風土」を形成していけたらいいなと思っています。そしていつか協力隊の皆さんも八雲の土になっていただけたら嬉しいですね。



営利を目的とする場合を除き、この議会広報誌をそのまま読むことが困難な方のために、録音図書・拡大写本等へ複製することを認めます。製作後は八雲町議会事務局（☎0137-62-2388）へご報告ください。

編集後記

この広報誌を作っている広報広聴常任委員会は、他の委員会と違い任意所属の委員会だ。

新人議員は強制参加だがそれ以外は面倒で手間のかかる作文や編集をやりたい「もの好き」が所属している。そのため、いつも活発な議論が行われ、テンポよく物事が決まっていく。やる気のあるチームでの議論は、広報のことに限らず町政全般にわたり、様々な意見が飛び交うとても楽しい時間だった。

さて10月には町長・町議選挙となるが、今回から初めて選挙公報が発行される予定である。政策や人柄・理念など、候補者それぞれが紙面で訴えることになる。そしてそれは選挙後も残りその候補者がやらなければならぬ公約となる。町民はしっかりと見極めて投票してほしい。

議会広報広聴常任委員会
委員長 大久保建一